

対象国の条件: アジア地域、JICAプロジェクト実施国を優先。

研修コース番号: 201984528-J002

案件番号: 201984528

主分野課題: 社会保障/社会保険・社会福祉

副分野課題: 保健医療/保健医療システム

使用言語: 英語

案件概要

アジアにおける高齢者の人口増加に伴い、高齢者に対する医療や介護サービスの強化、年金制度などの所得保障や社会参加の促進など政策的対応の必要性が指摘されている。これらの課題に対応するために、本研修では、他にないスピードで高齢社会を迎えた日本の高齢化対策の知見と経験を活用し、アジアにおける高齢化への政策対応における行政官の能力強化を目的とする。

目標/成果

【案件目標】

アジアにおける高齢者の人口増加に対応するための政策立案に関する行政官の能力が強化される。

【成果】

1. 高齢化に関する世界の潮流と、参加各国の高齢者に関する政策及び施策の現状と課題について理解する。
2. 日本の社会保障における高齢者政策に関する歴史的発展の経緯を理解し、高齢者保健、福祉や年金、社会参加のための各種制度について、その現状と問題点などを理解するとともに討議を通じて自国の状況と比較する。
3. 地域包括ケアシステムや地域包括ケアセンターなどの日本の自治体における高齢者施策の具体的な取組や課題について理解し討議を通じて自国の状況と比較する。
4. 研修員が講義や視察、ディスカッションを通じて得た気づきをレポートにまとめる。

対象組織/人材

【対象組織】

高齢化対策に関連する政策及び施策立案に関わる中央省庁（保健省、社会福祉省など）

【対象人材】

現在高齢化対策に関連する政策及び施策立案に関わる中央省庁の行政官（課長級以上が望ましい）。政策及び施策立案に関わる豊富な経験（5年以上）と知識を有するもの。

内容

1. OECD諸国を代表とする高齢化に関する世界の潮流と国際機関の取組に関する講義および討論、自国の現状についての分析および討論
2. 日本の社会保障における高齢者政策に関する歴史的発展の経緯に関する講義および討論
3. 地域包括ケアシステムなど日本の自治体における高齢者施策の具体的な取組や課題に関する講義および討論
4. 地域包括ケアセンターなど自治体における高齢者施策を実施している施設の視察
5. 自治体や地域において高齢者施策を実施している人材との意見交換
6. 研修で学んだ知識、討議において気づいた点などをレポートにまとめる。

※ KCCP「知識共創（Knowledge Co-creation）」を促進するため、アクティブラーニングを取り入れています。

本邦研修期間

2019/11～2019/11

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

JICA東京（人間計画）

関係省庁

厚生労働省

実施年度

2017～2019

主要協力機関

特記事項
及び
ホームページ